

## まさよし通信

発行 鶴岡市議会議員  
本間 正芳 [新政クラブ]

## 議員活動報告



## 01 6月議会 [一般質問]

## コロナ禍の鶴岡市の観光の状況について

**本間** コロナ禍で疲弊した観光拠点の再生取組状況、ウィズコロナの中で鶴岡市の観光の状況、アフターコロナをどう進めていくのか伺います。

**商工観光部長** 令和2年度の観光客数は約336万人にとどまり、前年度比44%の減少と非常に厳しい状況です。既存観光拠点の再生・高付加価値化



推進事業は、市内4温泉共同での再生を目指し、DEGAMが申請窓口となって計画を策定し、6月4日に採択されました。

マイクロツーリズムやワーケーションといった新たな旅行ニーズへの対応も求められています。小・中・高校の教育旅行も、近隣地域に変更する学校が増えており、令和2年度は県内を含む東北各地から鶴岡市に98校、教育旅行で訪れています。また、鶴岡市リモートワーク・ワーケーション推進事業を実施し、受入れのための事業調査やモニターツアーの実施、Wi-Fi環境の整備、ワークスペースの整備等に対する支援を行い、受入れ環境を整備しました。ワクチン接種率が高まるにつれ、旅行意欲は今後高まっていくものと予想されます。

出羽三山、3つの日本遺産やユネスコ食文化創造都市、加茂水族館、温泉など恵まれた観光資源や、歴史、文化、自然、環境などの地域資源をさらに磨き上げ、アフターコロナで選ばれる候補地として積極的な情報発信、観光誘客に取り組んでまいります。

**本間** 教育旅行について、もう少し詳しく説明していただきたいのと、鶴岡市の観光にどう結びつけていくのか伺います。

**商工観光部長** 令和3年度は、130校の受入れを目標とし、ガイドブック「まなぶつるおか」を活用した誘致と、探究型学習や持続可能な開発目標SDGsの学習などの体験プログラムを充実させ、より学習効果の高い教育旅行を提案することで、さらなる需要を取り込みたいと考えています。

## 02 6月議会 [一般質問]

## 鶴岡市・小・中学校の修学旅行について

**本間** 市教育委員会として、各学校に今年度の修学旅行について、どのように指導して、どのように進めてきたのか。また、小・中学校の修学旅行の取り組み方、現状を伺います。

**教育長** 文科省から、教育的意義や児童・生徒の心情等を考慮し、中止ではなく延期扱いとしたり、既に取りやめた場合でも、改めて実施することを検討するなどの配慮について依頼がありました。

これを受け、感染症対策の確実な実施、保護者などの理解、協力を前提に、可能な限り実施に向けて検討を進め

るよう各校に指導しました。

1学期に予定されている修学旅行の目的地は原則県内とし、目的地として適切で教育効果が高い隣県等については、市教育委員会と相談の上、感染状況を注視し判断することとしました。

1学期の予定は、小学校11校、中学校5校、2学期は、小学校15校、中学校5校です。現段階で、2学期以降、大阪府や沖縄県を予定している中学校もありますが、感染状況やワクチン接種の状況等を踏まえ、今後適切に判断してまいります。

**本間** 平常時における各教科等の指



導に関連づけている例や、自然保護、文化財尊重の態度、郷土愛育成、市の観光資源の修学旅行等への位置づけについても例を挙げて説明してください。

**教育長** 総合的な学習の時間のテーマとの関連で、鶴岡市内を見学地とし、学びを深めている学校もあります。

小学校では、酒井家庄内入部400年をきっかけに、庄内藩の街道や水運等の道をテーマにして、鶴岡市の歴史について理解を深めるために、温海地域の小国城址や鼠ヶ関所跡、加茂地区を見学地としていたり、中学校では、鶴岡市のSDGs未来都市選定をきっかけに、SDGsをテーマにして、森林資源や海洋資源の保全の大切さや持続可能な発電の必要性について学びを深めるために、三瀬地区のひやくねん森や

加茂水族館、鶴岡バイオマス発電所や月山ダムを見学地に行っている学校があります。

**本間** 庄内地域の小学校や、山形市や近県の小学校も、仙台・松島修学旅行や会津地方への修学旅行が一般的でしたが、ウイズコロナ下では中止や縮小を余儀なくされています。アフターコロナも数年は続くと思われ、仙台・松島修学旅行のように、鶴岡修学旅行を根づかせることはできないか。

そのような攻めの観光戦略をしたらどうでしょうか。

鶴岡市は海と山がうまくマッチしており、体験活動も両方できます。そこをパックで、マッチメイクして動ける会社を育てていくなど、民間の力も借りながら進んでいただきたいと思います。アフターコロナがチャンスです。期待しております。

## 子ども達の泳力の問題から

### ～学校プール指導の実態～

7月15日(木)から朝陽第三小学校と朝陽第四小学校に水泳指導と視察に行ってきました。コロナ禍の中、各学校では工夫をしながら指導をしている姿に頭が下がる想いでした。プールのあちこちに密を避ける工夫や、指導の中でも隣のコースと離れる工夫がありました。本来なら効率の良い指導なのですが、一方通行にしながら子ども達の動線を考えていく先生方の工夫が感じられました。指導の日程の中で熱くて今日はプールはできませんという日もありますが、これについては昨年度も議会で話をしましたが、教育委員会から、新たな対策をしてもらうように9月議会で話をしたいと思っています。それにしても子ども達の泳力が落ちている問題は真剣に話し合わなければならないと思います。あさひ小学校や羽黒小学校にも行くつもりです。



## 進まない陳情も粘り強く

### ～繋げるのも必要～



ここまで四年間たくさんの陳情を受け、たくさん解決してきましたが、全てがうまくいくわけではありません。大雨で道路に水であふれる問題、人工芝グラウンドの新設、道路の拡張の問題、小真木原の体育館の雨漏りの問題、旧由良小学校の雨漏り問題、いこいの村活用等たくさんの陳情をいただきました。それらについては必ず市当局や教育委員会等に繋げて問題解決を図るようがんばっています。例えば大雨で道路に水であふれる問題については市役所土木課道路維持係に繋げて話し合いましたが、近くの大田塚の問題だけではなく、その先の茅原塚の問題だったりして、解決に時間がかかると思われます。そんな時も市と住民を繋ぐようにしています。錦町の渋谷さんからは「大雨が降ると道路まで水が来ることがあって怖い思いをしていました。本間先生に相談して、その実態の説明を受けました。それから雨が降ったり、そのような時期になると市役所の人は何回か訪れて来てくれて声をかけてくれます。すぐには解決できなくても来て話を聞いてくれるだけでも安心です。」とのことでした。今すぐには問題の解決ができなくても繋げて、粘り強く解決を図っていきます。

ほんままさよし

## 本間正芳 プロフィール

昭31年生まれ/昭44年 鶴岡市立朝陽第三小学校卒業/昭47年 鶴岡市立鶴岡第二中学校卒業/昭50年 山形県立鶴岡工業高等学校卒業/昭55年 早稲田大学教育学部体育学専修卒業/昭58年 山形県公立学校教諭(小名部小→朝三小→鶴岡市教育委員会→朝二小→黄金小教頭→大綱小校長→朝日小校長→羽黒二小校長)/平成29年 鶴岡市立朝陽第四小学校 校長で退職/平成29年 鶴岡市議会議員選挙初当選/平成31年 鶴岡地区サッカー協会副会長

【議会での主な役職】▶厚生常任委員会副委員長 ▶広報広聴委員会委員 ▶高速交通等対策特別委員会委員 ▶議会改革特別委員会委員